



エコアクションニュース

VOL.9 2010.3

ECO-ACTION CARD

NISHINOMIYA
2009

発行：エコアクション事務局
〒662-0832 西宮市甲陽園1丁目8-1
西宮市環境学習サポートセンター内
TEL 0798-67-4520
FAX 0798-67-4523
企画：NPO法人こども環境活動支援協会(LEAF)



2010年度は5月末に
カードを配布します！

エココミュニティ情報掲示板をご覧ください
<http://info.leaf.or.jp>

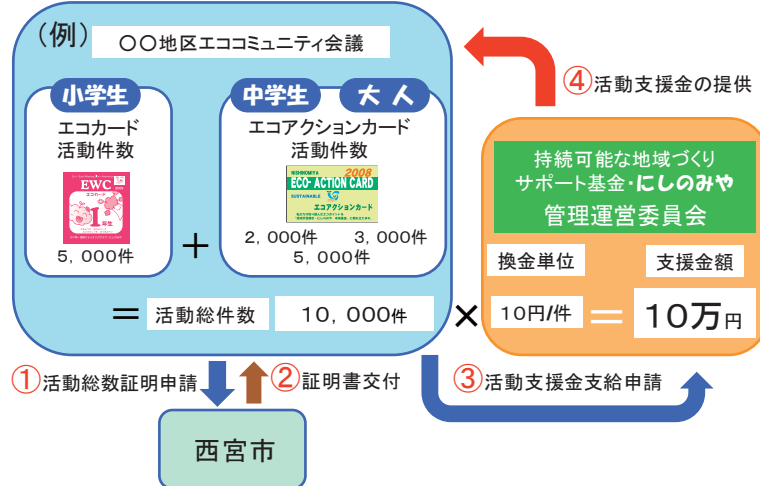
エコアクションカードについての問合せ：エコアクション事務局まで

持続可能な地域づくりサポート基金・にのみや

「地球と地域に役立つ私のエコ活動！」

エコカードやエコアクションカードを使ったエコ活動が、個人的なポイント集めで終わるのではなく、社会的な活動として地域にその成果が還元されるようなくみがあれば、個人と社会のつながりを具体的に体験でき、活動意欲を高めることにもつながるのではないかという考えから西宮ロータリークラブ、西宮商工会議所、NPO 法人こども環境活動支援協会の協働により、「持続可能な地域づくりサポート基金・にのみや」が設置されました。

活動支援金提供の事務手続きの流れ



■エココミュニティ会議に活動支援金を提供するシステムです

活動支援金を申請するエココミュニティ会議の対象エリア内の小学生及び中学生以上の市民が毎年6月1日より翌年3月31日までに取り組んだエコカード(アスレンジャー認定者に限る)及びエコアクションカードの活動総数に10円を乗じた金額(但し、1団体あたりの支給金額の上限を10万円とする)を提供します。

■活動支援金の申請期間

毎年度の4月1日から4月30日までに活動支援金の使用目的などを明記し「持続可能な地域づくりサポート基金・にのみや」管理運営委員会に申請書を提出します。

エコアクションカードは 中学生以上の市民を対象としたカードです。

環境活動やESD(国連持続可能な開発のための教育の10年)につながる活動(福祉、人権、平和や地域での社会体験活動)をしたときに「エコスタンプ」を押印してもらうカードです。今年度はエコスタンプ押印数をエココミュニティ会議の活動支援に活用する「しくみ」ができました。



環境まちづくりフォーラムが開かれました

地域社会に新たなつながりを求めて



2月27日、西宮市役所東館で、市民170名の参加を得て、環境まちづくりフォーラムが開かれました。西宮市教育委員会伊藤教育次長による基調講演では、西宮市が早くから自然体験や環境を重視する教育理念を持ち、現在に至っている経緯を話されました。

パネルディスカッションでは、平木、甲陽園、高木、用海地区のエココミュニティ会議代表者が活動を報告し、地域と学校との連携をどのようにつないでいくか等、今後の課題を出し合いました。

ポスターセッションには市内事業者や大学の環境活動や現在設置されているエココミュニティ会議の1年間の取り組みなど、51点のパネルが展示されました。各エココミュニティ会議の参加者はそれぞれの活動を紹介し合い、今後の地域活動に活かすことができたとの感想がよせられました。

2009年度 EWC 環境パネル展



西宮市では、市内全小学生対象の環境学習活動「地球ウォッチングクラブ・にのみや」(EWC)事業を行っています。子どもたちが環境に関する学習や活動に参加するとエコカードにエコスタンプを押印してもらえらるというものです。

そして、毎年、学校や、個人で取り組んだ一年間の取り組みを発表する場として環境パネル展を実施しています。

今年度も3月3日～7日まで、西宮市民ギャラリーでEWC環境パネル展が開かれました。西宮市内小学生から大人までの481点、海外17カ国から357点の作品が展示され、来場者約1600名を得ました。

左壁面はパキスタンの幼稚園、小学校から200点を超える作品が届きました。



出展国

ラトビア、ベラルーシ、ポーランド、シリア、モンゴル、中国、ベトナム、フィリピン、マレーシア、シンガポール、ネパール、タイ、バングラデシュ、インド、パキスタン、アメリカ、チリ

11歳の作品「水を大切にしよう」



●モンゴルのお友達へ

今起こっているさばく化や洪水のことが上手にかかれていました。ぼくたちも、もっとエコなことをしたいです。

●中国のお友達へ

ぼくは、あなたの作品を見て、環境保護には一人ひとりに責任があるんだと思いました。ぼくも環境のことについてしんけんに考えたいと思いました。



中国 小学生の作品

最終日には優秀作品29点の表彰式がありました。



小学校の学年で見学

海外の作品から

パネル展では、海外の作品に対し、メッセージを書いてもらい、作者に送るコーナーを作っています。今年はチリの地震を心配したメッセージがたくさんありました。小学生のメッセージを少し紹介します。

●チリの国のみなさんへ

地震で大変だと思国のみなさんへ。わたしはエコをたくさんしています。ぼい捨てをやめたり、犬のうちをもつてかえたりするエコをしています。わたしはこの国もここにこわらっている国がすきです。日本とチリが仲良くなればいいなと思います。チリのみなさんもエコをわすれないでください。エコをすることいいことがあると思うからがんばってください。このメッセージをわすれないでね。ここにこの国がふえますように。

エココミュニティ会議とは

平成18年度(2006)、西宮市新環境計画に基づき、地域から環境まちづくりを進めようと中学校区(約20地区)を基本単位に「エココミュニティ会議」の設置が始まりました。現在、17地区で活動が行われており、最終的には約20地区での設置が予定されています。

「エココミュニティ会議」は、地域の自治会、環境衛生協議会、社会福祉協議会、青少年愛護協議会など各種団体や事業者、学校、行政関係者などが参加する新たな活動スタイルとなっており、地域ぐるみのエコ活動を行っていく基盤となるものです。

パネル展 作品 貸し出します!

EWC事務局
〒662-0832 西宮市甲陽園1丁目8-1
西宮市環境学習サポートセンター内
TEL 0798-67-4520 FAX 0798-67-4523

海外作品や受賞された環境パネル展の作品は1年間EWC事務局でお預かりしており、施設や団体で実施される催し等に貸し出しいたします。

作品は身近な自然環境や地球環境をテーマに壁新聞にまとめられています。詳細はEWC事務局にお問い合わせください。